

令和8年度（学び続ける教師を応援する）しまだい学校教員研修 ※対面（集合型）

研修名	生徒同士をつなぎ、自治的な力を育むことで、いじめの未然防止に取り組んだ中学校の実践に学ぶ						
資質向上に関する指標（文科省）	生徒指導	プログラム指標（しまだい）	子ども支援				
キャリアステージ	自立・向上期（1～10年目）	○	研修レベル	基礎（学部1・2年レベル）	○		
	探究・発展期（10～20年目）	○		応用（学部3・4年レベル）			
	充実・円熟期（20年目以降）	○		発展（大学院レベル）			
開設日	令和8年7月28日（火）午前	時間数	3時間	受講定員	30名		
会場	山陰教員研修センター （島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程に併設）	所在地	島根県松江市大輪町416-4				
授業形態	講義、演習	対象校種（◎推奨）	幼	小	中	高	特
				○	◎	○	○
		対象教科	全校種 全教科				
実施方法	対面（集合型）	対象職種	広く学校教育関係者				
担当講師	ふじはら たけし 藤原 建（島根大学教職大学院 特任教授）						
研修内容	<p>現代的教育課題となっているいじめは多くの学校にとって喫緊の課題である。一人一人が大切にされていると実感できる話し合い活動や、生徒同士が繋がるための活動を中心とした『自治の取り組み』によって、その未然防止に成果を上げた学校がある。そこには多様な生徒が身の回りの課題を自分事と捉え、主体的に解決しようとする力を育む様々な仕掛けがあった。自校の取り組みに閉塞感を持つ教員にとって、新たな視点が持つことができる。</p>						
日程 ※研修の進み具合によっては、予定時間を変更することがあります。	時間	内容 ※研修中は適宜休憩をとります。					
	8:40～9:00	受付					
	9:00～9:10	オリエンテーション					
	9:10～10:30	当時生徒の発表プレゼンテーション等から『自治の取り組み』の概要を学ぶとともに、そこに込められた教師の思いや具体的な仕掛けから、いじめ防止に成果を上げた理由を考える					
	10:30～12:00	デジのモチベーション理論の視点から『自治の取り組み』を検証し、自校での実践のヒントを考える					
12:00～12:15	「実施後アンケート」記入・事務連絡 ※「研修の課題・振り返り」の記入は研修時間内で随時						
研修に関して各自準備するもの	特になし						
事前課題	特になし						
その他	<ul style="list-style-type: none"> 募集要項に記載の携行品等をご持参ください。 講義の内容に関する質問等に、メールで対応します。 fujihara_tk@edu.shimane-u.ac.jp まで、ご連絡ください。 						